

給食だより 1月

令和2年12月25日
港区立青山中学校
校長 中田和直

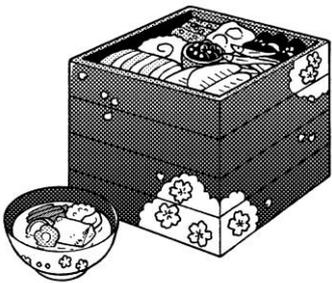
～新しい年を迎えます～

今年は、誰もが予想しない日々が続きました。新しい生活様式に慣れてきたもののこの冬休みはいつもと違う冬休みになるでしょう。自分の健康は自分で守り、3学期もみなさんが元気に登校してこられることを願っています。さて、1月は年のはじめです。お正月に始まり、七草、鏡開き、小正月など、1年間を健康に暮らせるようにとの願いを込めた行事がたくさん行われます。また24日から30日までは「全国学校給食週間」です。戦後、国内外の多くの善意や期待を寄せられて再開された学校給食の意義を考え、その一層の充実を期する1週間になります。この期間を通しあらためて食べ物の大切さや作り手の思いを知り、感謝の気持ちをもって給食を食べるようにしましょう。



新しい年への願いを込めたおせち料理

おせち料理とは、もともとは五節句（1月1日、3月3日、5月5日、7月7日、9月9日）に神様へお供えをした料理です。それを家族で食べる儀式を直会（なおらい）といいます。この直会の食べ物が本来のおせちなのですが、現在は正月料理だけを指すようになりました。おせち料理には、縁起の良い食べ物がいろいろと使われています。例えば「黒豆」はまめで健康にという意味があり1年の無病息災を願ったものです。また「えび」はえびのようにひげが長く腰が曲がるまで長生きできるようにという願いが込められています。新たな1年を家族が健康に過ごせるようにと願う気持ちなど、料理に込めた思いを感じて味わいましょう。



……知っていますか？……

学校給食の始まり

学校給食は、明治22年、山形県鶴岡町（現在の鶴岡市）の私立忠愛小学校で子どもたちの健やかな成長を支えるために、無償で昼食を出したのが始まりといわれています。当時の献立は塩さけ、おにぎり、漬物などが出されていたといわれています。



青山中では、25日より東京都の郷土料理である深川めしからスタートします。そして東京都産の食材を使った献立と、昭和時代に食べられていた鯨肉の献立などを提供する予定です。

食育クロスワード

□に当てはまる文字を考えてみよう

1		D	6		11	え	
			7	ろ			
2	5				12	び	14
3		ば		10		A	ぼ
4	か		B	B		13	く
			9	ず		E	
							C

タテのカギ

- 1年の最後の日。
- 身の回りの物を持ち運ぶ用具。
- ウリ科の甘い果物。
- 冬至の日にお風呂に入れる果実。
- 男性用の洋装の礼服。
- 冬至の日食べる野菜。

ヨコのカギ

- 1年内最後の仕事の日。仕事○○
- 冬が旬の手で皮をむける果物。
- 年越しに食べるめん。
- 魚の肝臓の油、目によいといわれる。
- 「考える人」の作者。
- 小野妹子が行った昔の中国。
- おじいちゃん、おばあちゃん。
- そで触れ合うも多生の○○。
- 美しくかえること。街を○○する。
- 災いの元!?

ABCDEの文字を当てはめてみよう。どんな言葉が出てくるかな？

A □ B □ C □ D □ E □ を食べよう!



～セレクト給食を行いました～

12月25日に「A京パルフェ」か「Bプリン・ア・ラ・モード」かを事前に選んで食べるデザートの特選給食を実施しました。甘さ控えめの京パルフェの魅力と、フルーツやクリームの花やかなプリンの魅力とでは、票数を仲良く分け合いました。

A 京パルフェ : 90票
B プリンアラモード : 87票

